

組合だより

発行所 中標津農業協同組合・中標津町農業共済組合
発行 昭和50年8月10日 第21号 印刷・アート印刷株式会社



『系統飼料事業強化
三力年運動』の
展開について

日本という国は、国土が小さい、人口が多い、資源が少ない、この三つの特徴をもっております。この国で畜産、酪農経営の安定をはかるためには、国内自給飼料の増産とその高度利用を進める一方、配合飼料をとりまく諸問題を解決することが急務であります。そのため経営収支に占めるウエイトの高い飼料のコスト引き下げと安定供給、更には品質の向上をはかるため努力を重ねて参りました。

しかし、生産者を含めた系統一丸となった組織を結集する運動こそ、大きなメリット還元が期待出来るので、畜産経営の安定に寄与することを目的に本運動を本年四月から実施致しました。

我が国は、飼料原料のほとんどを海外に依存せざるを得ない宿命的飼料事情にあります。その上にたつて生産農家に少しでも安くかつ良品質の飼料を安定的に供給するためには、その八五%までが輸入である原料の購入条件が、製品価格に大きく影響をあたえます。そのため運動を通じシエアアの拡大をはかり①飼料需要の一元化による大量取り扱いが、海外原料買い付けを有利にする。②計画的な予約受注、生産、供給によって流通の合理化が果たせる等、系統の果たすべき役割、及び生産者自ら、畜産物販売も含め系統窓口一本化による販売価格体系の確立等、なすべき事は数多くありますが、当面は

- ① 畜産生産基盤の確立
- ② 生産資材コストの低減
- ③ 生産技術経営水準の向上
- ④ 畜産物価格安定等

であり、これらについては行政への働きかけはもとより、系統組織あげて取り組むべき大きな課題であります。

生乳の成分について

北海道酪農検査所中標津支所

生乳の細菌の問題については、
 明年四月よりの全面規制を前に、
 関係機関の指導並びに生産者各位
 の努力の結果、この数年飛躍的
 に向上し合乳の全量合格も間近に
 達成されるものと思われます。

さてこの問題が片付くと、次に
 は生乳の固形分による取引問題
 が表面化し、近年中には固形分含
 量による乳価の決定がなされるも
 のと思われます。

この問題については農林省等に
 よって数年前から全国的に検討さ
 れており、すでに本州では数県で
 実施されており、北海道にお
 いても数年前より検討されてお
 り、すでに一部では固形分も加えた乳
 価体系の検討も加えられておりま
 す。

さて本論に入りますが、生乳の
 組成は水分が八十八%で残り十二
 %が固形分であり、これを全固形
 分と云います。全固形分の中には
 脂肪が約三〜五%タンパク質が三
 〜三・五%糖質四〜五%その他無
 機質一%余りとなっており、全固
 形分から脂肪分を除いたものを無
 脂固形分と云います。

またこの全固形分含量の測定法

の一つに比重測定法があり、これ
 は農林物資規格法及び食品衛生法
 によって、生乳の比重は一、〇二
 八〜一、〇三四と決められており
 これ以外の生乳は規格外で二等乳
 となります。また比重測定法の外
 に一定量の牛乳の水分を除いて計
 る測定法があり、これが公定法と
 なっております。

以上牛乳の組成及び固形分測定
 法を簡単にのべましたが、次に当
 所で現在調査中の成績についての
 べます。

当所にTMSと云う固形分測定
 機が導入された事は新聞等にも出
 ましたので御承知の事と思いま
 す。この機械を使い管内の固形分
 含量を調査中ですが、調査成績中
 には前述のように十二%近くある
 はずの全固形分が九〜十%余りし
 か無い生乳が出荷されており、こ
 れは常識では考えられない数値で
 あり、関係機関と種々の協議の結
 果、近日中にこれらの調査を実施
 すべく計画中であります。また比
 重は前述の規格通りの取扱いをす
 るようメーカーに改めて確認して
 おりますので、今後規格外が確認
 されれば二等乳となるものと思わ

れますので十分注意願います。
 今回は組成等について簡単にの
 べて終り、乳価と固形分との関係
 等については次回でのべたいと思
 います。

地域別調査表

	全固形分	乳脂肪	無脂固形分	
日本	11.54	3.32	8.22	S.46年調査
北海道	11.91	3.52	8.39	S.49年調査
中標津	11.85	3.53	8.32	S.49年調査

牛乳の組成

1. 水分	88%	
2. 固形分	12%	
		脂肪 3~5%
		タンパク質 3~3.5%
		糖質 4~5%
		無機質 0.7~0.8%

6月分乳代金精算書による計算例

農協コード 1361
 氏名 農協太郎

- 1等乳量 10,000kg0①
- 1等乳量目単価 29円4459.....②
- 1等乳脂肪量 350,000③
- 1等乳脂肪単価 1,000円
- 補給金単価 19円0622.....④

計算例
 $① \times ② = A$ $A + B = C$
 $① \times ③ = B$ $(① \times ④) + C = D$
 $10,000\text{kg} \times 29\text{円}4459 = 294,459 \text{円} \dots\dots A$
 $10,000\text{kg} \times 350,000 \times (+) 350,000 \text{円} \dots\dots B$
 乳代 644,459 円.....C
 (1kg当り脂肪率 3.50%)
 $(10,000\text{kg} \times 19\text{円}0622) = 190,622\text{円}$
 (+) 644,459円.....D
 合計 835,081円 ①

1kg当り 83円50銭
 2等乳単価 17円17銭
 (精算書に含まれていない控除)
 牛乳乳製品消費拡大対策費
 1kg当り 3銭

生乳共販体制強化対策費
 1kg当り 54銭

量目単価の内容(全道)
 $(-)$ 受託1等乳支払総乳代 $\times 1,000\text{円}$
 受託脂肪量
 受託1等乳量

〜5月分乳質改善奨励金〜
 5月分の格差金は次のように普通貯金(婦人口座)
 に入金しました。

0と1に対して 1kg当り
 2円0029

2に対して 1円0014

入金日 8月1日

個乳検査成績が次のような場合は、ペナルティとし
 て徴収します。

3に対して 1kg当り 1円
 4と5に対して 2円
 8月1日からの出荷乳量を対象とします。

農協 青年部
婦人部だより

新生活運動

方針を決める

第一回農婦協役員会

新生活運動でお返しは廃止とい
うことがいわれてきたが、この問
題が第一回地区農婦協役員会にお
いて協議の結果、次のように決ま
りましたのでお知らせ致します。

尚この運動は婦人部だけで推進
出来るものではありませんので、
婦人部々員はもとより農協役職員
・青年部々員等にも協力してもら
い、実行していつてもらいたいと
存じます。

＜推進内容＞

(1)お見舞・香典・お祝い等は二千

天気予報と 農作業

八～九月の天気予報
は先号でも報じました
が、や、不安定な天候
に終始するとのことで
すが、これからの農作
業について次のことに
気をつけたいものです

一、乳量の秋落ち防止
について

これからは放牧地の
草量が不足気味になる

新生活推進 運動スタンプ



根室地区農協婦人部連絡協議会

円以内とし、お返しは廃止しま
す。

(2)お返しは自分で礼状(ハガキ)
を書いて出す。

(3)新生活推進運動スタンプが事務
局の所にありますので御利用の
方はいつでも事務局まで申し出
て下さい。

(4)押印場所

のし袋の裏に押印して下さい。

ので、草量をよく観察し不足が想
定される場合には、サイレージ・
乾草などを補給し、栄養低下をき
たさないように注意しましょう。
また、濃厚飼料も適切な給与を
行ない、乳量の減少防止に努めま
しょう。

三、てん菜苗床用床土の準備につ
いて
来年度使用する床土は次の点に
注意し、早めに準備しましょう。
(1)土壌は肥沃で病害虫発生のおそ
れの無いものを選ぶ。

二、強風雨による畜舎施設の被害
防止について
強風雨による畜舎施設や屋外堆
積飼料(梱包乾草やスタックサイ

積飼料(梱包乾草やスタックサイ



01537
5-XXXXX

別海局の
市外局番が変わります
市内局番が つきます

★九月二十五日(土)午後二時から★

◎市外局番は:

○一五三七五→一五三七七に変
わります。

◎中標津局の市外局番と同じです
が、回すことになりました。

◎市内局番は:

今までの電話番号の頭に「五局

(2)土壌の酸度は六・五程度に矯正
する。

(3)完熟たい肥などを床土重量の一

◎%程度混入し、土壤水分を三
◎%程度に保って貯蔵すること。

の市内局番が つきます。おか
けのときは、市内局番も忘れず
ダイヤルしましょう。

◎例:
市外局番 電話番号
別海局(〇一五三七五) ××××

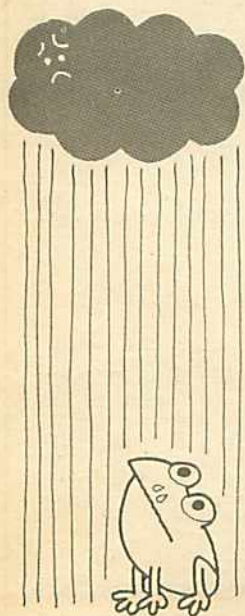
別海局(〇一五三七五) ××××

(1)直接ダイヤルする場合のかけ
方は従来と同じですが、市外
局番及び市内局番についてご
理解ください。

(2)武佐局のお客様は従来と同じ
かけ方ですが、市内局番も忘
れずに交換取扱い者へ申し出
て下さい。

取引き先や友人・知人にもお知
らせください。

(中標津電報電話局)



組合だより (4)

組合員名	上旬	中旬	下旬	組合員名	上旬	中旬	下旬	組合員名	上旬	中旬	下旬	組合員名	上旬	中旬	下旬
白田 穰	2	1	1	板橋 松寿	0	1	0	第二俣落地区				田中マツノ	1	2	0
新谷 正二	2	2	2	岩井 昇	0	0	0	西村 徳守	1	2	2	内山 勲	4	0	0
井口 精一	2	1	2	服部 一好	0	0	0	西垣 洋	2	2	2	八木原明治郎	1	2	1
川上 茂	1	0	1	遠藤 太一	0	0	0	保科 清	2	2	2	中浦 健夫	1	0	1
石橋 喜作	-	0	0	遠藤 幸吉	0	1	0	松岡喜代之助	1	1	0	前原 秀隆	0	0	0
長谷川 寿	2	1	2	橋本 敏朗	3	4	4	田代 昭	1	1	1	町田 芳照	2	2	2
花尻 武夫	2	2	2	高橋 正三	2	1	3	井ノ口定則	2	2	2	房川 喜清	1	2	2
中条 由治	1	0	0	松村 晴由	2	2	2	安江八五郎	1	1	2	宮脇 正治	2	3	1
中条 幸作	1	0	1	小山 美芳	2	1	2	剣持 広昭	1	1	0	滝本 信孝	1	0	0
奥村 保章	2	2	1	本村 正春	2	2	2	斎藤 別	1	1	1	富沢 保男	1	1	1
萱岡 信二	3	3	1	菅原 清	0	0	0	白石 孝治	3	3	2	谷村 茂夫	2	1	1
高橋 昌夫	2	1	2	上村 太平	1	1	0	山口 広幸	0	1	2	武田 三郎	1	1	1
中塚 秀夫	3	2	3	上村 政則	1	0	0	原田 逸喜	3	1	2	藤井 弘仁	1	0	0
中黒 田勝利	2	1	1	上村 力	2	1	1	沖 一美	0	0	0	北村 一仁	0	1	1
藤原 勝一	2	2	3	松本 勇	1	0	0	片岡 宅次	1	1	1	北杉 本匡視	0	0	0
小松 新一	-	-	-	藤原 信男	2	0	0	弾正 原正春	0	1	2	佐藤 載康	2	0	1
秋山 実太	2	2	1	遠藤 忠義	2	1	1	国光 昭	1	1	1	松本 金市	0	0	0
佐藤 春行	2	2	2	山下 鉄男	1	0	1	遠藤 直行	0	1	1	加藤 政男	0	2	2
佐藤 一二	2	1	1	阿部 幸一	2	0	0	佐伯 証次	0	1	1	横田 国雄	0	1	2
清原 由太郎	2	0	2	上ヶ島 春雄	2	2	0	米栖 寛	1	1	0	竹下 日吉	2	1	1
湯山 稔	2	2	2	山崎 翠	2	0	2	川村 清身	1	1	0	柳田 治郎	1	0	0
湯山 幸男	2	3	2	藤田 貞蔵	1	0	0	加藤 繁	1	0	1	青木 喜三	0	1	2
三宅 要	1	2	1	藤田 誠一	1	2	1	萩原 蝶七	3	2	3	青木 重次	2	1	1
門馬 四郎	2	1	2	青山 喜代春				星野 昇司	1	0	0	関 又左工門	4	2	1
中塚 文夫	2	3	1	剣持 幸男	0	1	0	星野 盛恵	2	1	2	横田 好一	1	1	1
石原 竜雄	1	1	2	遠藤 義永	1	0	0	滝本 勇雄	1	0	0				
西井 武	2	2	2	宮田 正晴	2	1	1	滝ヶ平 初美	0	0	0				
土井上友一	2	2	2	鷺見 孝男	1	0	0	滝ヶ平 茂	1	2	1				
土井上政雄	1	1	2	真部 愈	2	1	0	滝ヶ平 妓夫	1	2	2				
小沼 佐太男	1	2	1	渡辺 利秋	2	1	2								
熊谷 正	1	1	2	田代 良司	1	1	1								
山本 雪信	2	2	2	上村 太一	-	-	-								
真野 米光	2	2	1	相沢 武雄	2	2	1								
寺島今朝松	2	2	1	太田 俊昌	0	1	0								
佐藤 憲治	2	1	2	若森 勝茂	-	-	-								
佐藤 忠男	0	1	1	唐沢 辰胆	2	1	1								
佐藤 和夫	1	1	1	唐古 敏弘	0	1	0								
塩田 専治	1	0	1	小谷 盛一	2	1	2								
五十嵐 徳次	0	1	0	秋山 政雄	0	0	1								
川上 優	-	-	-	齊藤 富吉	0	1	1								
田中 清司	1	1	1	広瀬 定夫	0	0	0								
山本 秀夫	2	2	2	半沢 勇雄	1	1	0								
松田 征二	2	2	1	渡辺 俊雄	-	-	-								
安達 武蔵	1	0	0	笠原 良夫	0	2	2								
志賀 安尾	2	2	1	武田 伊三郎	1	1	2								
志賀 正治	1	2	0	後木 章	2	3	2								
篠永 鉄雄	1	0	0	久保花次郎	2	0	1								
篠永 静男	1	1	2	松本 豊治	0	0	1								
篠永 林喜	1	2	2	新井 真博	1	1	1								
俣落地区				コ	新片野 博	2	1	2							
原 藤子	1	2	1	三島 木友治	-	-	-								
大木 敏夫	0	0	0		-	-	-								
小林 金司	2	1	3	小林 義忠	2	2	2								

旬別	0	1	2	3	4	5	合計
上旬	89	120	114	7	3	0	333
中旬	102	144	74	13	1	0	334
下旬	114	124	86	7	2	0	333
合計	305	388	274	27	6	0	1,000
合格率	30.5	38.8	27.4	2.7	0.6	0	100

地区	当幌	中標津	俣橋	開陽	武佐	第二俣落	俣落	平均
上旬	100	100	100	97.3	96.7	90.7	98.0	97.5
中旬	100	98.1	96.0	94.3	91.8	96.3	96.0	96.1
下旬	100	100	98.0	94.3	96.7	98.1	94.0	97.3
月平均	100	99.4	98.0	95.3	95.1	95.0	96.0	97.0



農協貯金でデラックス旅行

100万ドルの夜景 ヨーロッパの街なみ ショッピングの 香港・マカオへ7泊8日の旅

《募集要項》

1. 実施期間

昭和50年12月3日～12月10日

7泊8日

2. 申し込み方法

定期貯金100万円以上 詳しいことは農協窓口で相談の上申し込んで下さい。

3. 申し込み締切日

昭和50年10月15日

4. 募集人員

15名(定員になり次第メ切り)

●費用に含まれるもの

往復エコノミークラス航空運賃、空港とホテル間の送迎バス料金、観光バス料金、ガイド費用、ホテル料金、食事料金(全行程3食付)団体行動中のチップ、手荷物料金(20kg以内)空港税。

●費用に含まれないもの

個人的費用、クリーニング代、電話電報郵便料金、飲物代、20kgを超えた手荷物料金、旅券印紙代、予防接種料金、渡航手續手数料。

5. 日程表

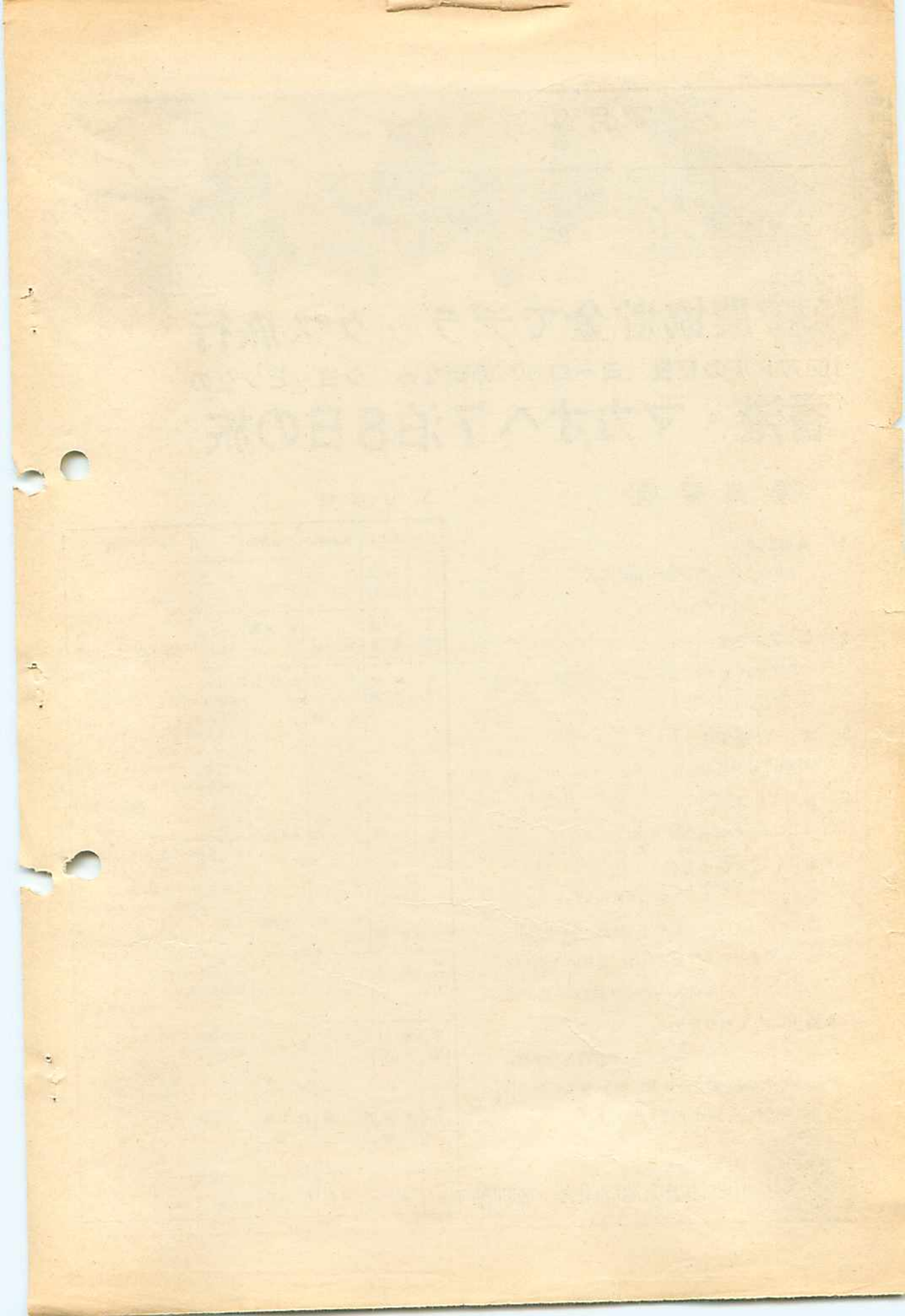
日次	都市名	現地時間	交通機関	日 程
※(水)	中標津 札幌	午 後 翌 朝	国 鉄	出 発
※(木)	千 歳 東 京	午 後	航 空 機 バ ス	東京都内ホテル泊
※(金)	東 京 香 港	午 前 午 後	航 空 機 バ ス	着後市内レストランにて昼食 市内観光、タイガーバーム公園、 ビクトリアピーク、レパルス湾他 水上レストランにて夕食 夕食後ビクトリアピークより 100万ドル夜景観光 香港ホテル泊
※(土)	香 港 マカオ マカオ 香 港	午 前 午 後	水 中 翼 船 水 中 翼 船	水路ポルトガル領マカオへ セントポール寺院、中国国 モンテの砦、ドゥグレース、 昼食はポルトガル料理 カジノで賭博のスリルを味わい ます 香港ホテル泊
※(日)	香 港			終日 自由行動 買物等ご案内 香港ホテル泊
※(月)	香 港 東 京	午 前 午 後	航 空 機	自由行動 空路帰国の途へ 東京都内ホテル泊
※(火)	東 京 千 歳 札 幌	午 前 午 後	航 空 機	
※(水)	中標津	午 前	国 鉄	解 散



お申し込みは

中標津農業協同組合 管理部

TEL 2-3275



7月乳質検査成績表

中標津農業協同組合

種別	組合員名			種別	組合員名			種別	組合員名			種別	組合員名						
	上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬				
	当 幌 地 区				高 藤 祐 蔵				丸 田 良 夫				金 子 安 有						
バ	飯島光五郎	1	0	0	バ	連田弘	0	1	0	コ	小塩正春	2	-	-	バ	高野勇	2	1	1
バ	飯島清一	1	0	0	バ	永谷雄幸	0	1	0	バ	鈴木重蔵	1	1	0	バ	中林勇	0	1	1
バ	奥田勝佳	1	1	1	バ	長繩弘	1	1	1	コ	高橋一男	2	0	2	バ	工藤隆弘	0	0	0
バ	奥田岩男	0	1	0	コ	松田五郎吉	0	1	2	バ	高平幸夫	0	0	0	コ	郷原徳雄	-	-	-
バ	中山安寿	1	1	0	バ	麻郷地忠勝	1	2	0	コ	中本要次郎	2	2	2	コ	赤波江雪右門	2	1	3
バ	山川健三	2	0	2	バ	小針晴信	1	0	1	コ	半沢かね	2	1	1	バ	沢口正志	0	0	0
バ	阿部俊勝	0	0	0	コ	佐藤吉次	2	2	2	コ	国見正雪	2	1	2		沢渡定良	-	-	-
バ	鈴木吉三	0	0	0	バ	花川秀一	1	2	0	コ	国見実	2	1	2		桜井義雄	-	-	-
バ	西垣信男	0	1	0	バ	古沢亀治	2	2	0	コ	斎藤哲雄	1	0	1	コ	目黒茂	0	1	2
バ	小原治	0	0	0	コ	花川稔	2	3	2	コ	斎藤栄七	2	2	2	バ	大西秀良	1	0	1
バ	吉田繁行	1	0	1	バ	今井秀和	1	0	0	コ	伊藤七郎	0	2	2	バ	大西英明	0	0	0
バ	竹村満夫	2	1	0	バ	東原正広	0	1	1	バ	千葉清一	1	1	0	バ	福島昭憲	0	0	1
バ	高橋常次	2	0	1	バ	岡部実行	1	0	1	バ	村井直行	0	0	0	コ	下川原秀子	1	1	1
バ	筒井留雪	1	0	0	バ	渡辺善行	1	0	0	バ	山崎正喜	0	0	0	コ	三輪貞夫	1	2	1
バ	筒井正守	0	0	0	コ	田島育三	-	2	-	バ	松本嘉吉	1	2	0	バ	西山貞義	0	0	0
バ	室井太吉	0	0	0	コ	竹村昇	2	1	1	バ	後藤田信夫	2	2	2	バ	佐々木武雄	2	3	2
バ	安田康正	0	0	0	バ	松隈健二	1	1	1	バ	斎須安雄	0	1	1	バ	日下一芳	1	1	0
バ	山田一男	0	1	0	コ	麻郷地忠	-	1	2	コ	永島重男	2	-	-		新保良明	-	-	-
バ	松田昌介	1	1	1	バ	古瀬イセ	0	1	0	コ	山田良太郎	1	1	1	コ	石田春夫	2	1	1
バ	舟田正明	1	0	1	バ	藤本久雄	1	2	1	コ	房川喜延	2	2	3	バ	加茂正毅	1	0	1
バ	菊地良	0	1	0	バ	小川清	1	2	0	コ	三輪一郎	2	3	2	バ	佐々木政行	1	1	1
バ	田沢栄一郎	-	-	-	バ	佐藤道嘉	1	1	1	コ	井上亮夫	2	1	4	コ	三友盛行	2	1	2
バ	遠田要三	1	1	0	バ	佐藤末美	1	1	0	コ	笠井剛	4	2	2	バ	高島貞作	0	1	1
バ	西山高蔵	1	1	1	バ	佐藤拓	1	2	1	バ	赤堀岩男	1	1	1	バ	福島信一	2	1	0
バ	長正路正義	0	1	0	バ	佐藤永雄	0	0	0	バ	鈴木敏夫	2	2	2	コ	古田起雄	2	2	2
バ	大野正己	1	1	1	バ	佐藤東	0	0	0	俵 橋 地 区			バ	本田萌	1	1	1		
バ	吉成左門	1	0	1	バ	望月幸男	0	0	0	コ	大山仁三郎	0	0	1	バ	中村敏夫	0	1	1
バ	福村守吉	1	1	0	バ	白築政博	1	1	1	バ	名越成夫	2	1	2	バ	真野勇	0	0	1
バ	遠藤末吉	1	0	1	バ	武田勇夫	1	1	1	コ	真島正義	2	2	1	コ	多田俊夫	1	1	1
バ	笠原金吾	1	1	2	バ	高橋敏	0	1	0	コ	佐藤清	2	1	2	バ	小岩正一	0	1	0
中 標 津 地 区				バ	熊倉彦吉	0	1	0	コ	大山道夫	2	1	2	バ	伏見哲	0	0	1	
バ	緩坂欣一	1	1	1	バ	小林茂雄	2	0	1	バ	乾守夫	2	0	0	バ	中川一平	2	1	0
バ	緩坂恭民	1	1	1	バ	阿部正六	1	0	1	バ	乾勝美	1	0	0	コ	福島広光	-	-	-
バ	吉川晴久	1	1	2	バ	佐藤三男	1	0	0	バ	伊東武	0	0	0	武 佐 地 区				
バ	滝場光明	0	0	1	バ	長淵貞義	0	1	0	バ	大山富雄	2	1	1	コ	丹羽孝	0	0	1
バ	久保慶一郎	1	0	0	開 陽 地 区			バ	山下孝二	1	1	0	コ	丹羽正明	1	2	1		
バ	久我良夫	1	2	1	コ	土井上昭男	2	1	1	バ	北川栄治	1	1	2	コ	亀井泉	1	2	0
バ	正城純一	0	0	0	コ	亀田英二	-	-	-	バ	水本勘蔵	1	0	0		長野福重	-	-	-
バ	荒 昭一	0	0	0	コ	向館金吾	1	0	0	バ	水本一三	2	1	1	コ	中司哲弥	1	0	1
バ	桜井誠造	1	0	0	コ	山田輝男	0	1	2	バ	山本正八	0	0	0	コ	上原徳保	2	2	1
コ	佐々木繁雄	2	1	2	コ	船越政雄	1	0	1	バ	榎田英雄	2	1	0	コ	工藤政義	1	2	1
バ	佐藤晴信	0	0	0	コ	浅野トミ子	0	1	1	コ	穴吹貞明	2	2	2	コ	舟橋清高	2	1	1
コ	奥村武雄	2	2	2	バ	吾妻寅男	1	1	1	バ	佐藤正男	1	1	0	コ	酒井源四郎	2	2	1
コ	阿部忠次郎	2	0	1	コ	木村武雄	-	-	-	バ	佐々木文作	0	2	1	コ	目黒雅隆	2	3	2
コ	三森章司	0	0	0	コ	鈴木村嵩	2	1	2	コ	栗栖義輝	-	-	-	コ	千葉弘	2	2	2
コ	三川手輝雄	2	0	2	コ	桜井精治	2	1	1	バ	野口忍	1	0	0	コ	工藤剛一	2	2	2
コ	下山恵市	2	2	2	コ	横田孝博	2	3	2	コ	佐藤千秋	-	-	-	コ	児島喜一	2	1	1
バ	石崎多門	0	0	1	コ	高橋寅之助	2	2	2	バ	太田市三	0	3	0	コ	児玉光彦	2	1	1
バ	林 仁一郎	0	0	0	バ	中本栄太郎	1	1	1	バ	岡 次郎	0	1	2	コ	坂口亀一	2	3	2



あなたは

いくつ

できますか？

《前回の正解者は

三名でした》

??応募要領?? ??

①はがきに番号を書き、正しいものは○印、違っているものは×印をつけてください。

②氏名・年令

③住所

④対象 小・中学生

⑤宛先 中標津町東七条南二丁目 中標津農協 組織農政係

※切日は九月二十日

※正解者十名に粗品進呈。正解者多数のときは、抽選で決めます。

《七月の答》

「貯金箱」でした。

正解者三名に粗品を差し上げますので、農協へ取りに来て下さい。

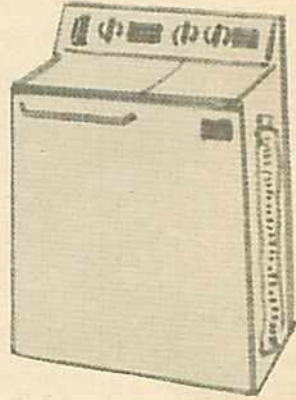
《南武佐》佐藤幸一君《同》佐藤みゆきさん《南俣落》真部朝志君

- (1) かぜは薬をのんでいれば無理にしてもよい。
- (2) やけどは水で冷せば早く治る
- (3) お酒は一日おきにすれば害が減る。
- (4) たばこは胃かいようをおこす
- (5) 歯さえみがけばむし歯はできない。
- (6) 勉強は夜するのが一番有効である。
- (7) おかゆやめん類は消化が悪くなる。
- (8) 食後に運動をすると消化が悪くなる。
- (9) 下痢よりも便秘がこわい。
- (10) 寝しなに熱めの風呂に入浴すればよく眠れる。



暮しのアイデア

洗濯機を選び方



洗濯機は、全自動の機種と二槽式洗濯機があります。最近「実用型」が販売されましたが、これまでの標準型のものと比較してみますと、実用型が買い得です。

メーカーの標準値段で三三三、〇〇〇円前後していたものが、実用型は二九、八〇〇円で売り出しており、三、〇〇〇円ちよつとの開きがあります。小売では、売り値はこれよりも割り引かれて売られます。

実用型が安くなる理由は次のとおりです。

- ① 終了ブザーをなくした。
- ② タオルかけをはずしている。
- ③ うず巻と反転の二段水流を反転だけにした。
- ④ 水量調節を一段のみ（高水位）にした。という点です。メーカーによりまちまちである。

しかし脱水槽に自動ロック方式などで、安全性は高めている。以上のように標準型と大差はなく、実用型が買い得といえます。

